

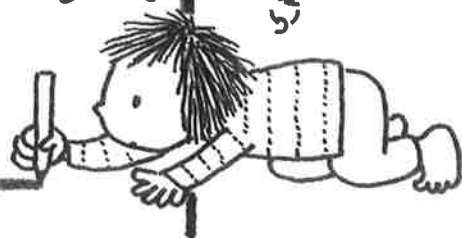
金城学院幼稚園

2021年

こどもニュース

No. 16

12.16 発行



クリスマスおめでとうございます！



「待ち望む」

アドベントの期間をご一緒に多くの準備とクリスマスを迎える喜びに当たらせていただきました。保護者の皆さまに心から感謝いたします。父母の会を通してのクリスマス準備、証しの会、聖書を読む会、賛美の会、クリスマス讃美歌練習、園芸の会のリース飾り、手話の会の学び、くるみスタッフ、また様々な保育の場面でのお手伝い父さん母さん、そして落ち葉掃きなどのご奉仕。長い園の歴史の中で脈々と受け継がれていることですが、どの活動も始まりは歴代の保護者の皆様の「園と共にやりたい！」というお気持ちから始まり動いてくださった業。この園は皆様に支えられている幸いに包まれていると実感しています。

こども達も自分達の手でクランツを作り、礼拝で4本のろうそくに一本ずつ灯が灯されるのを見てきました。1週間で1本、というスピードは現代社会の中ではなんとゆっくりに感じられることでしょう。普段の生活ではそのような時間の区切りで何かを待つことは少ないのではないかと思います。だからこそ、こども達は礼拝の度に灯されるろうそくの明かりを「今日は2本」「今日は3本だね」と固唾をのんでじっと見ていました。1本、1本と増えていくろうそくの明かりを黙って見つめるその姿に2000年以上前のユダヤの人々が救い主の誕生を「待ち望む」姿が重なりました。

幸いなことに現代に生きる私達は当時のユダヤの人々がいつ生まれてくるのか知らなかった救い主イエス様のお誕生を知っています。そのことに感謝してクリスマスを迎えたいと思います。



「本当のクリスマス」

2000年以上前、最初のクリスマスは大きな喜びに包まれたものでしたが寒い馬小屋で華やかさも豪華さもなく、とっても静かだったのではないのでしょうか。

弱い人間の罪を全て背負い十字架にかかるために生まれてきてくださったイエス様のお誕生、そのイエス様を与えてくださった神様に感謝する本当のクリスマス。

様々な状況に一喜一憂してしまう私達は弱い存在ですが、神様はいつも変わらずそばにいてくださいます。そのことを覚え、本当のクリスマスを共に喜びましょう。

贈る喜びを知る「クリスマスプレゼント」

クリスマスからお正月へと、この時期「もらう」ことの多いことも達ですが、園では大好きな人に心をこめて贈る喜びを知ってほしいと考えおうちの人へのプレゼントを作りました。大好きな方に喜んでいただける幸せを経験できる時となりますように。今年度も園でのプレゼント交換は難しい状況ですが、おうちでゆったりと喜び合う時間をとってくださいね。

「配信について」

今年度も全保護者と遊戯室での讚美礼拝をご一緒できないことは本当に残念でしたが「配信」という新しい形であっても礼拝にご参加いただき、子ども達が再現するイエス様お誕生のベツレヘムの夜を通してクリスマスの本当の意味を感じていただけたのなら嬉しいです。配信をお手伝いしてくださる学院のマルチメディアセンター、また国際情報学部の学生さんには本当に感謝です。実は学生さんの一人はなんと卒園生です。「私も同じ讚美歌を歌いました！」と今回の企画を知り率先して手を挙げてくれたとか。園との繋がりがこうして巡っていく不思議に改めて神様のご計画の深さを感じました。

この時期、各教会ではクリスマス礼拝やお祝いの会を行います。コロナ禍にあっても様々な工夫と対策をし喜びを分かち合う準備を進めている教会もあります。この機会に是非お近くやお友達の通う教会をお訪ね下さい。

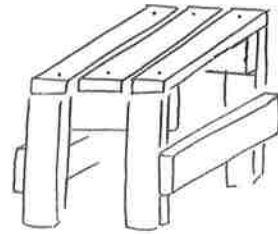
2学期を皆様と歩ませていただいたこと、お支えいただいたことに心からお礼を申し上げます。またこの度お引越されお友達の新しい地での歩みを、神様が守り祝福されますように。皆様の年末年始が神様の祝福に満たされた温かな時間となりますようお祈りいたします。

児玉 芽 

年長あつまり

今年の年長さんからのプレゼントは……

「みんなの台」です♡



【去年作ったもの、覚えてる?】

「去年のクリスマスプレゼントって何作ったか覚えている?」という問いかけに年長さんたちは「お盆!」「あと、○と△と□を使ってカードも作ったよね」と答えてくれました。そうそう、その通り! 「じゃあ、今年は何をプレゼントに作ろうか?」と聞くと、「椅子を作りたい!」「違うよ、椅子は僕たちが使うから、プレゼントじゃないよ」とそんな声。

「でも、椅子っていきなり作れると思う?」

「難しそう……」

「えー、そうかなあ、簡単だよ」

「じゃあ、椅子みたいなものをプレゼントで作ってみるっていうのは?」

「いいねえ、それ!」

そうして、今年は椅子のサイズをぐぐっと小さくした、台を作ることにしました。

「みんなの台」という名前も子どもたちと話し合って決めました。ちなみにこの台には、子ども達曰く、お菓子やお皿を置いてほしいんだそうです!



【終わらないやすりがけ……】

椅子づくりの際には、最後にやすりがけをするのですが、今回は一番初めにやすりがけを行いました。木の本数は、11本!

コツをつかんでスイスイ終わらせる子、なかなか終わらなくて遊びたい気持ちと葛藤している子、遊び最優先で皆が終わっていくのを見て慌ててやりにくる子、毎日毎日根気よく計画的に行っている子。一人ひとり全く違う姿を見せてくれました。

「ぜんぜん終わらないー」「もうやめてもいい?」

「終わるのは良いけれど、明日までが締切だよ。あと何本あるの?」

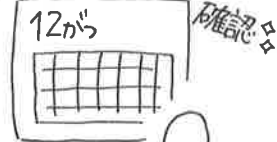
「……8本」

「終わると思う?」

「……もう少しやってく」

こんな会話をしつつも、自分で見通しをもってやっていく姿はやはり年長さんだと思いました。

朝付にカレンダーでできる日を



【同じもの、作れるかな？】

今回は見本を見ながら同じように組み立てる、ということは何度か行いました。けれども、実は全く同じものを作るのが難しい！（特に平面で作った足を立体にする部分！）

「あってる？」

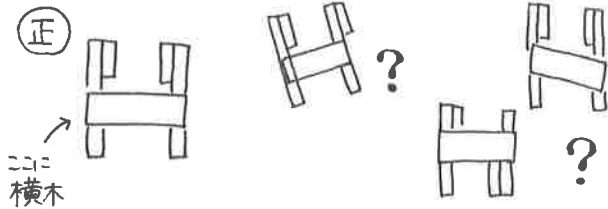
「プー！」

「えー、こう？」

「残念」

「じゃあ、こう？」

「よく見てー」



見本を見てもわからない時には、隣の子のものをこっそり見てみたり、じっと考える時間があったり、穴が開くほど見つめてみたり……その子なりの解決方法で組み立てていく姿がありました。

そして、釘打ち。これは、黒く印をつける場所に打ち込んでいきます。

かなづちを上手く使ってすいすいと打ち込んでいく子もいれば、釘を叩くいい音はするんだけどなかなか釘が打ち込めない子も……。「もう、釘打ちなんてやりたくないー！」と言いつつも、時間を掛けて最後まで打ち込んでいた姿が印象的でした。けれども、何本も釘打ちをしていくうちに、だんだんと力の入れ方がわかっていき、最後には初めの頃と比べてずっと素早く打てるようになった姿がありました。

【もちろん、カードも！】

プレゼントにはカードもつけました。

描き始める前に、「クリスマスカードだから……、何を描こうか？」と投げ掛けると、「プレゼント」「ツリー」「リース」「トナカイ」「サンタさん！」などなど口々に言ってくれました。皆で描くものを確認してから、それぞれが描き始めました……。

そして、できあがったカードにびっくり！

どの子もカラフルで生き生きとした絵を描いていたのです！「いつの間にこんなに描けるようになったんだろう！」と、子どもたちの成長を感じてつい年長担当二人で顔を見合わせてしまいました！

ぜひ、これまでのプレゼントのカードと見比べて、お子さんの成長を感じてみてくださいね！

「みんなの台」では、昨年度のプレゼントだったお盆から一つステップアップして、平面のものから立体物に挑戦しました。

初めての立体物（しかも四つ足）なので、中には少しぐらぐらしてしまうものもあるかもしれません。台に置くものは軽いものに限ってみたり、少し足の部分にフェルトなどを貼って調節したりして頂けたら嬉しいです♡



年中さんからは...

スワッチ画



マルチブック & カード



家族の日のプレゼントに引き続き、マルチシリーズ第2弾!!

🎁 プレゼント作り...材料は?

「クリスマスの何よりのプレゼントは、神さまが下さったイエスさまだね。」というお話から、嬉しいクリスマスの時をおうちの人たちとも一緒に喜び合いたい!とプレゼント作りをすることになりました。完成見本を見せて、さあ何で出来ているのか、何が必要なのか、子どもたちと考えてみました。



作る道筋が分かった子から、見えていない部分(今回はボンド)の材料まで見通しが!すごい!!

🎁 やすり掛けはお手の物!

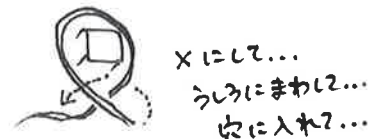
家族の日のプレゼント作りで、たくさんやすり掛けを経験した年中さん。今回は大きな木一本にやすりを掛けました。どうやって力を入れたらいいのか、角が丸くなったか自分の手で触って確かめている姿から、今までの経験が子どもたちの中に積み重なっていることを実感しました。

🎁 釘打ちは...初めて!?

木片をボンドで付けたら、今度は釘打ちです。今までトントンコーナーで金槌を使ったことのある子もいれば、今回が初めての子もいました。金槌の使い方、釘の選び方、釘の支え方、さらには釘の抜き方まで伝えました。実際にやってみて、「できた」という経験をすることができました。よく見ると何か所も釘を抜いた跡が残っていたり、金槌で叩いた形跡がみられたり、子どもたちの「頑張った跡」があります。ぜひ頑張ったところなどを聞いてみてください。



紐も自分たちで結びました。その後の製作やお弁当袋等など、生活の場面でも紐結びに挑戦する姿がありました。小さな「できた」が積み重なることで、自信に繋がっていきます。



!! 何を掛けようか…

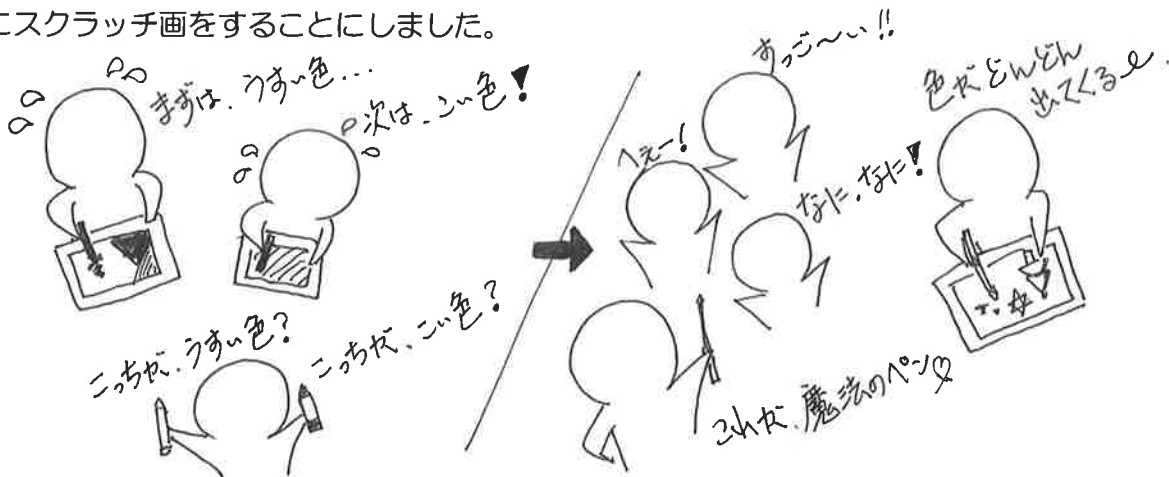
プレゼント作りをしながら子どもたちと「なに掛ける?」「どうやって使う?」という話をしていました。子どもたちと相談しながら、いろいろな使い方を考えてみてくださいね!



!! 魔法のペンで…!?

運動会看板を覚えてますか? クレパスで塗り込みをした文字が並んだあの看板です。あの時、こども達から「もっと塗りたい!」「いっぱい塗りたい!!」とクレパスを使って“こんなにも力強く塗り込めるようになった自分”に気づき、その楽しさも実感できたようでした。

そこで、クレパスの塗り込みをもっと楽しんでみようと思い、クリスマスカードにスクラッチ画をすることにしました。



色を薄い色と濃い色に分けて、下には薄い色をその上に濃い色を塗り込みました。これは薄い色? これは濃い色?…これまであまり意識しなかった色の薄い・濃いということも気に留めて、塗り込んでいきました。

次に登場したのは“魔法のペン” このペンを使って塗り込んだクレパスの上を削ると…なんということでしょう! 綺麗な色が浮き出てきます。

(^O^)すっご〜い (^ω^)なんでえー と子ども達の目はクルクルと動き、興味津々に取り組み、カードを仕上げました。

カードの風合いと共にカード裏のクレパス跡も必死に塗り込んだ証として味わってください。



年少さんからのプレゼントは・・・



☆オーナメント&クリスマスカード☆

○△□で何ができるかな？



あつまりの中で、「クリスマスのは神さまが私たちにイエスさまをプレゼントしてくださった日なんだよ」という話をし、「私たちも大好きな人にプレゼントを作って贈ってみる？」と聞いてみました。すぐに「つくる〜っ♪」とこたえてくれた可愛い年少さん。「おうちの人には秘密ね♡きっとびっくりするよ〜。」と伝えると、『ひ・み・つ』という言葉の響きに、何とも言えない嬉しそうな笑顔♪
まずはサインペンを使ってクリスマスカードづくり。「○を2つ重ねたら何になる？」
「△と□を合わせたら？」と保育者が質問してみたり、こどもたちから「・をたくさん描くと雪みたいだよ」とアイデアが出たり。プレゼントを渡す相手のことを思いながら、それぞれ好きな絵を楽しく描くことができました♡

オーナメントって？



『オーナメント』という言葉。知っている子はいませんでした。クリスマスツリーの飾りであることを説明すると、「あ〜わかった！」「もう家で飾ったよ！」と。早速、保育者が紙粘土で星形のオーナメントを作って見せると、子どもたちの目がキラッ☆「自分も作ってみたいっ！」という意欲が、作り方の説明をしっかりと聞こうとする姿に繋がっていて、一人ひとりの成長を感じました。

—型抜きオーナメント—

「紙粘土をぺったんぺったん平らにして、好きな形の型で抜いてね」と説明し、それぞれ作り始めると…ぺったんぺったんが止まらな〜い(笑)。紙粘土の感触がとっても気持ち良かったようです。好きな色のビーズを選び、型抜きをした粘土にボンドを使って飾りつけることにも挑戦しました！キラキラ光る素敵なオーナメントが出来上がりましたよ☆

—コロコロおだんごオーナメント—

紙粘土にサインペンで色をつけ、モミモミすると…あら不思議！真っ白だった紙粘土がマーブル色にっ！もっとモミモミすると…わぁ！色が変わった！！

保育者が説明しながら見本を作る様子を見て、「すご〜い」と歓声を上げてくれる子どもたち。リアクションが素直で可愛い♡♡♡早速、子どもたちも好きな色をつけてモミモミ。でも色付けが足りなかったり、もみ込む力が足りないとなかなか色がつきません。「何でだろう」と困っている子どもには、保育者がアドバイス。試行錯誤しながら、それぞれの色に染めていきました。保育者は1色で染めましたが、子どもたちの中には2色以上で染めている子もいて、感性の豊かさを感じる瞬間でした。色付けができたら、紙粘土を手の平でコロコロ転がしておだんごに。自由遊びの時間に泥だんごづくりを楽しんでいる子どもたちはとても上手に丸く作っていましたが、初めておだんごづくりに挑戦した子どもたちにとってはちょっと難しい…。平らなおだんご、一生懸命もみ込んだ指の後が残っているおだんご、真ん丸なおだんごなど、個性的なオーナメントが出来上がりました♡



紙粘土が乾いてオーナメントが完成した後、子どもたちはラッピングもしました。袋にプレゼントと綿を入れて、自分で選んだマスキングテープを切って貼りました。

完成すると、「もう固まったから持って帰っていいの？」「今日、持って帰る？」と、大好きな人にプレゼントを渡す日をとても楽しみにしている子どもたちの姿がありました。ぜひ一緒に喜び合い、ご家庭で飾っていただけたら嬉しいです♡

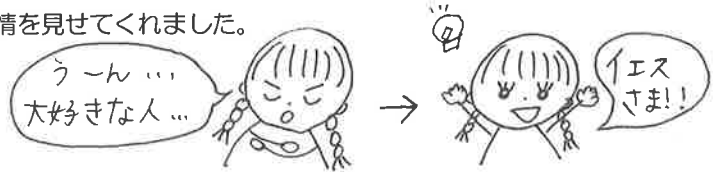


にじぐみさんからのプレゼントは…

☆ステンドグラス風タペストリー&ひつじのクリスマスカード☆

「クリスマスにプレゼントをもらったことあるかな？プレゼントをもらおうと嬉しい気持ちになるよね♪みんなの大好きな人にもプレゼントをあげよう！」というお話をしました。うーん…と少し考えたにじぐみさんから出た言葉は…「それって…イエス様？」「神様にあげるってこと？」でした。その言葉に私たち保育者もびっくり。礼拝や普段の生活の中で、神様やイエス様が身近な存在になっていたようです。「神様やイエス様も大好きだけど、みんなのこと幼稚園に送ってくれたり、お仕事頑張ってくれたりする人にあげたいなと思ってんだよね。」と伝えると「あ、ママダー！」「パパ〜！」とおうちの方のことが出てきました。いざプレゼントをあげる人がおうちの方だとはいきなりと分かって、張り切った表情を見せてくれました。

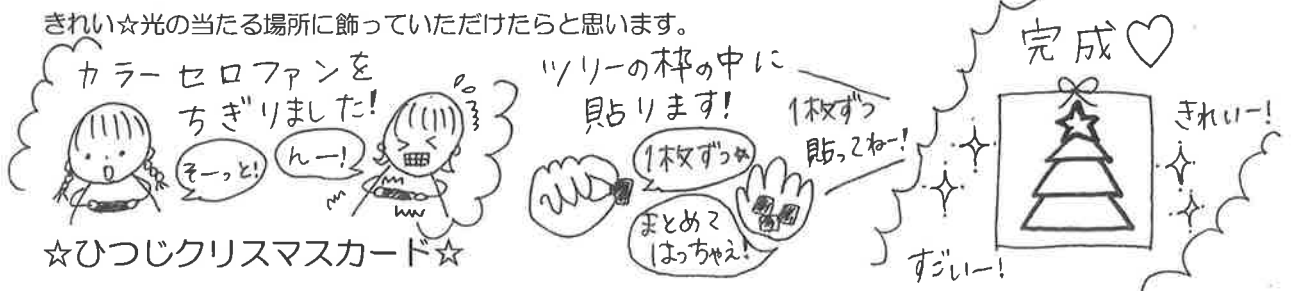
☆ステンドグラス風タペストリー☆



見本をみると「きれい〜!!」と目を輝かせていました。お日様の光に当たると床にも模様が映り、その模様を追いかける子もいました。

作る姿もそれぞれ個性がでていて可愛かったです。まずカラーセロファンをちぎりました。子どもたちがちぎりやすいように切り込みが入っていたのですが、慎重にちぎる子、カズクでちぎろうとする子、手際のいい子など、それぞれの姿がありました。

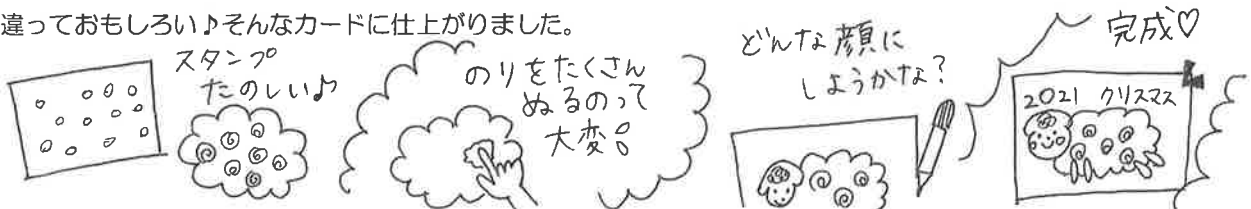
次にちぎったカラーセロファンをツリーの形の枠の中に貼っていきました。どの子もツリーの形の枠からはみ出さないように頑張っていました。色が重なっていたり、セロファンの際間があいていたりしますが、それもまたきれいな☆光の当たる場所に飾っていただけたらと思います。



☆ひつじクリスマスカード☆

イエス様の誕生を、羊飼いと共にお祝いにやって来るひつじ。今回そのひつじをイメージしてカードにしました。ひつじの模様、カードの裏面はスタンプをしました。スタンプを横に動かしてしまうことなく、1つずつ“ぼんっ、ぼんっ”とスタンプすることができました。

ひつじの体は大きいので、のり付けも頑張りました。少し塗って「できたー!」と見せてくれるので何度「端まで、のり塗ろうね」と言われたことか…。顔や足も、それぞれどこに貼ろうかと考えて貼っていました。そしてサインペンで顔を描いて完成!ひつじが首を傾げているようにみえたり、走っているようにみえたりと、みんな違っておもしろい♪そんなカードに仕上がりました。



どちらのプレゼントもとても可愛く出来上がりました。子どもたちが今までの経験や初めての素材を使い、心を込めて作った初めてのクリスマスプレゼントです♡お家のよく見える場所に飾って、素敵なクリスマスを迎えてください。

(ちあき畠)